

各分野における評価が低い項目に対しての改善策

(1) 教育理念・目標

【3】社会・経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか

評価は3. 0

業界での人材不足は喫緊の課題である。養成校が業界に多くの人材を輩出することが求められている。ほかの業種においても人材不足の状態が続いている。将来的に有能な人材を地域に輩出することを目指しているが、この業界や養成校の魅力を周知し学生募集につなげたい。

(2) 運営

【1 1】情報システム化等による業務の効率化が図られているか

評価は3. 2

小規模校であるため煩雑な業務が多いわけではないが、一つひとつの業務に関しては、誰が担当しても継続的に成果や結果を導く仕組みを構築しなければならない。システム化には時間がかかるが、今後も継続的にシステム化の取り組みを行っていきたい。

(3) 教育活動

【2 3】介護分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか

評価は3. 4

各個人は様々な方法で先端的な知識や技能の修得に努めている。しかし、授業日は授業の関係で校外での研修や研究大会等に参加するのは難しい状況にある。長期休業中に実施される研修会などには、県外を含め積極的に参加できるように勤務日等を調整したい。

(4) 学修成果

【2 7】退学率の低減がはかられているか

評価は3. 2

退学数は例年とほぼ同じであるが、入学者数が少ないために退学率が上がっている。退学者の中には体調不良等やむを得ない理由の場合もある。しかし、学習面で遅れがちな学生に対しては担当教員が丁寧な指導を行い、退学とならず積極的に学生生活を送れるようしている。

(5) 学生支援

【35】保護者と適切に連携しているか

評価は3.4

入学生の半数以上が訓練生であるため、対象となる保護者も少数になるが、学校行事への参加もある。学習面で心配な学生の保護者には、学生の置かれている状況を理解してもらい家庭での協力も得ている。

(6) 教育環境

【40】学外研修、インターシップ等について十分な教育体制を整備しているか

評価は3.6

例年近隣の高等学校からのインターシップを受け入れている。地元中学校の卒業生を中心に数名参加している。概要説明や模擬授業など3日間の中で、介護に対する認識を深めてもらうための授業を準備している。介護に対しての興味関心が薄い生徒もいるので、高等学校側との連携を深める必要がある。

(7) 学生の受け入れ募集

【43】学生募集活動において資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか

評価は3.8

本校で実施されるオープンキャンパスや高校での説明会等で丁寧に説明を行っている。就職状況については入学前の学生たちには詳細が理解できない面もあるので、希望の施設に100%就職できていることを伝えている。

(8) 財務

【45】中長期的に学校の財政は安定しているといえるか

評価は3.6

11期・12期生の入学者が少なく財政的には厳しい状態が続いている。募集定員の7割以上の入学者がないと安定した財政状況とは言えない。訓練生の募集を含め、学生募集に関して様々な工夫をし、入学者数を増加させることが重要である。